

中 なんごう

議会だより

たわわに
実ったお米

今年も
美味しい葡萄が
実りました！

ワイン
フェスティバル

私たちの故郷は、安全で
安心な美味しい食べ物で
溢れています。

2025
10月

9月定例会

vol.184

contents

- 補正予算..... 3
- 予算・決算特別委員会... 4～6
- 一般質問..... 7～11
- 各常任委員会..... 12～15
- 特集..... 16

ホームページは
こちらから

南陽市議会

検索



9月定例会

9月定例会 9月1日▼9月19日

報告3件

◆放棄した私債権の報告

◆令和6年度南陽市一般会計予算継続費の精算報告

◆令和6年度南陽市健全化判断比率及び資金不足比率の報告

諮問1件

◆人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める

神棒久志氏（新任）

同意1件

◆南陽市教育委員会委員の任命 相澤裕子氏（再任）

条例・その他8件

◆財産の取得

（消防団の排水ポンプ積載型消防ポンプ自動車の取得）

◆財産の取得

（ロータリ除雪車1.3メートル級の取得）

◆南陽市職員の育児休業等に関する条例等の一部改正

◆南陽市水道給水条例等の一部改正

◆南陽市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正

◆南陽市ビジネスホテル誘致条例の一部改正

◆南陽市道路線の廃止

◆南陽市道路線の認定

補正予算5件

◆令和7年度南陽市一般会計補正予算は歳入歳出に8億514万5

千円を追加し、歳入歳出予算総額を183億2千232万7千円とした。

*予算特別委員会に付託（P4～5参照）

*各常任委員会に付託（P12～13参照）

決算認定8件

◆令和6年度一般会計及び特別会計の総決算額は、前年に比べ歳入で1億2千420万3千円、歳出で776万8千円それぞれ減少した。

歳入歳出差引額は11億9千349万円、実質収支額は11億7千489万円の黒字であり、前年度の実質収支額を差し引いた単年度収支額は、9千949万4千円の赤字となった。

*決算特別委員会に付託（P5～6参照）

一般質問

9名の議員が2日間にわたり当局の考えを質した。

（P7～11参照）

追加議案1件

◆財産の取得（自走式トイレカーの取得）

以上、審査の結果異議なく可決した。



ロータリ除雪車



排水ポンプ積載型消防ポンプ自動車

中学校施設整備事業費 (赤湯中武道場暖房機更新工事)

318万円

赤湯中学校武道場に設置しているFF暖房機2台について、経年劣化により動作不良が見られ、冬期間の学習に支障が出る恐れがあるため更新するもの。

男性HPVワクチン任意接種 費用助成補助金

315万円

男性HPVワクチン任意接種について、接種見込者数の増加により助成費用を増額するもの。

高齢者带状疱疹ワクチン 定期接種事業費

176万円

高齢者带状疱疹ワクチン定期接種について、接種見込者数の増加により、助成費用を増額するもの。

ふるさと納税事業費 寄附金（代理受付分）

135万円

令和7年2月に発生した岩手県大船渡市の林野火災に関してふるさと納税災害支援代理寄附で納付いただいた寄附金を大船渡市へ送金するもの。



大船渡市の林野火災

一般会計

補正予算の主なもの

市民体育館浸水対策工事

580万円

市民体育館特定天井脱落工事中に新たに判明した、メインアリーナの浸水対策工事。

対策工事を行うことで、施設等を水害から守り、指定避難所としての機能強化を図るもの。

さくらんぼ温暖化対応技術 導入推進事業補助金

355万円

気候変動に強いさくらんぼ産地化を推進するため、さくらんぼの高温対策に必要な選果機、冷房設備、散水設備等の導入を支援するもの。



指定管理鳥獣対策事業費

140万円

法改正により、9月1日からクマ等が市街地に侵入し、住民への危害防止策を緊急に行う必要がある場合、周囲に危険が及ばない一定の条件下で市が緊急に発令し銃猟を実施できることから、必要となる資機材、活動費等を準備するもの。

予算

Q & A

歳出

旧中川中学校校舎・体育館について

Q旧校舎は建設から40年経過し、統合により廃校となって15年経ち、劣化が進んでいる。

今後の利用の可否についての方針は。

A現状確認するため専門的に調査を行い検討していく。

Q体育館は屋根の腐食が進んでいる。

屋根の塗装工事に係る費用は。

また、塗装工事を行う予定は。

A費用は、概算で約600万円程度かかる見込みで、現時点で工事の予定はない。



旧中川中学校体育館

財産の維持管理

Q市の財産を売却することは財政的にも必要と考えるが、今後の計画は。

A公共施設等総合管理計画の中で適切に進めていく。

Q旧あずま湯の解体を含めた今後の予定は。

A立地も含め、不動産鑑定ではまだ価値が残っている状況だ。駐車場としての利用も含め、検討を進める。

温暖化対策補助

Q農家への減収分の補助を市独自で考える。

A今のところ無いが、高温障害の状況を把握し、農家に寄り添って対応していく。

Q今後災害により農林被害があった場合の市の対応は。

A災害に備えるための保険の加入補助は実施している。

難しい問題だができるところから対応していきたい。

議会費

Q旅費の内容は。

A議会運営委員会の研修視察の不足分を予算化した。

◎適切に使用されるよう要望する。

市街地での緊急銃猟

Q最近の熊による被害拡大を受けて国の方針が変わり、市街地での緊急銃猟が可能になったが、猟友会とは意見調整を行っているのか。

A猟友会の協力なしに進められない案件のため、緊急時の手順も含め複数回の意見交換を行っている。

Q事故が発生した場合の責任の所在は。

A市長命令で緊急銃猟を依頼した場合、事故の補償は法令に則り市が行う。

しかし、銃刀法は未改正のため、実施者が

不利益を被らないように猟友会側に寄り添う形で情報収集にあたりたい。



学校管理費

Q老朽化と設備の不具合により開設を見送った漆山小学校のプールは、雑草も多く危険な状態だ。

市としての対応は。

Aプール周辺の市民に迷惑が掛からないよう、環境の美化に努める。

中学校適正配置基本計画

Q基礎資料の作成を委託するにあたり、その内容は。

A基本計画を策定するため、施設の活用を含めた多角的な視点からの専門的知見を得るもの。



◎市民プールへの送迎バスが遅れたことがあった。
炎天下で児童を待たせることの無いよう、時間の厳守を要望する。

教育現場の改革

◎全国学力・学習状況調査で、県の結果が昨年度を下回ったとの報道があったが、本市の状況は。

▲県の結果を見ると、国語、算数・数学、理科ともに全国の平均正答率を下回っており、本市においても同様の状況となっている。

◎今の学校には「しなければならぬ」事と「してはいけない」事が多く「やりたい」事ができないという声がある。

もっと教育現場に裁量を与え、自由な活動を促した方がよいのでは。

▲一般に学校における働き方改革の推進によって、働きやすさばかりに重点が置かれ、学校全体が窮屈になっている印象がある。

教師が子供たちと自

由に様々な事を体験することを通して、働きたいを感じられる教育現場を目指し、学校と連携を深めていく。

AEDの設置

◎市内の施設に設置の要望を出したが、烏帽子の湯と赤湯元湯にはまだ無いようだ。

今後の予定は。

▲赤湯財産区の施設となっているため、赤湯財産区管理会とも相談しながら対応していく。

◎これから寒くなる季節を迎え、心停止のリスクも高まる。是非、早急な対応を。



決算

Q & A

歳出

旧ハイジアパーク

◎引き合いがあるとの話もあったが、その後の進展は。

▲今の段階ではお話しできることはない状況だ。

◎取り壊し費用などは把握しているか。

▲解体費用の計算はしていない。

◎前例もあるので、先方の会社の運営状況や資産状況など、しっかりと調査を経てから進めていただくことを要望する。

市の魅力のアピール

◎商店街を活性化させるため、どのように事

業者を呼び込むのか。

▲中心市街地を対象に、空店舗対策として、赤湯地区・宮内地区の空店舗を利用したスタートアップ補助金を設けている。

◎市の魅力のアピールが無ければ、事業者も来ないのではないかと。

▲以前からPRが足りないと指摘いただいており、市としても積極的に広報を行っている。

◎例えばアニメーションを利用するなど、知恵を絞って活用していくことを要望する。



宮内新町商店街

公共施設の床面積削減

◎市の公共施設を令和28年度まで2割削減する目標があるが、現在の達成度は。

▲昨年度は旧老人こいの家を取り壊した。具体的な数字は整理をした段階でお伝えする。

猟友会への補助

◎近年の物価高騰で弾薬価格も高騰している。市街地での有害駆除を見据え、訓練への補助を拡充出来ないか。

▲県基準で補助しており、今後価格高騰分は拡充を要望していく。



サギの駆除について

◎以前は住民の要望を基に駆除していた。近年数が増えて被害も拡大している。

▲野生鳥獣については、鳥獣保護法を順守した中で対応を考えたい。

◎住民の方も大変苦労されている。以前出来たことが今出来ないはずはない。住民に寄り添った対応をお願いしたい。

新規就農関連

◎新規就農者育成総合対策事業の申請者の内訳は。

▲1年目が3名、継続の方が8名と認識している。

◎この補助事業の認定人数の傾向は。

▲開始資金の他、施設や農機具などのハード部分の補助が、国の最終的な補正予算で令和

7年度の新規にずれ込むこともあったが、本市として補助の受け口は広く確保している。

地球温暖化対策

◎市の指導で多様な施策を進めているが振り返っての進捗状況は。

▲各所からの報告を取りまとめているところであり、まともり次第、報告する予定である。

インバウンドについて

◎令和6年度のインバウンド事業の成果は。

▲台湾の「駐日台北経済文化代表処」の方にお会いし、繋がりを強めてきた。

◎推進・活用の考えは。

▲市内関係各所と意見交換を行っている。県と歩調を合わせニーズに合わせ対応する。

◎井の中の蛙ではだめ。もっと予算への反映を。

▲台湾だけではなく、

他の市町村と一体となり、最大限の効果をもたらしたい。

県とも協調して積極的に参加していきたい。



冠水被害対策

◎近年、全国的に集中豪雨で冠水被害が起きており、本市でも毎年

南陽バイパス西側の病院敷地や民地に冠水被害があるが、対策は。

▲昨年度には実施していないが、本年度に調査業務を発注している。排水先になる吉野川の河川改修の経過を確認しながら対応したい。

◎ここは以前から冠水

被害があり、土地所有者の大変な負担になっている。

難しい問題だが、善処をお願いしたい。



商店街の活性化

◎商店街まちづくり活性化補助金の交付数は。

▲二つの団体に交付している。その他、南陽市商店街活性化支援事業では、三つの団体に交付している。

◎補助金についての広報が弱いと感じる。

より強化していただくことを要望する。

水心子正秀顕彰碑

◎今年は、本市出身の刀工「水心子正秀」の没後200年だが、生誕地とされる元中山にある諏訪神社付近の生誕地に設置された木碑がかなり傷んでいる。

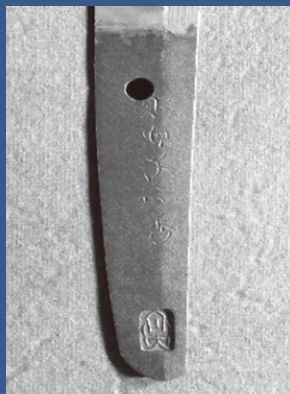
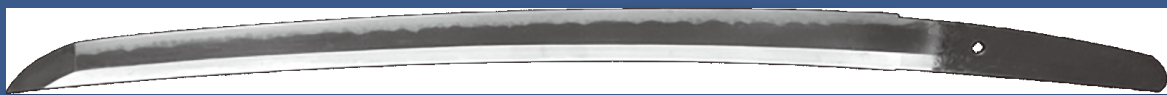
民間の記念事業の動きに合わせた対応は出来なかったのか。

▲今後、地元や実行委員会と意見交換しながら対応を考えたい。

◎「水心子正秀」は名工でもあり、弟子を数百人育て、書籍を残した教育者でもあったことをもっと広報すべきだ。

この顕彰碑も50年以上前の建立だが広報不足で知らない方が多い。生成A-を積極的に活用するなどして広報に注力すべきだ。

▲今後、それらの新技術も含め対応を検討する。



水心子 正秀（すいしんしまさひで）は、江戸時代後期に活躍した刀工で、古来の鍛刀技術復興を目指した新々刀の理念のもと、多くの名刀を生み出した。正秀は刀を作るだけではなく、数多くの弟子を育成した教育者でもあった。文政8年（1825年）76歳で亡くなっている。銘は、
「水心子正秀」
「川部儀八郎藤原正秀」
「水心藤原正英」
「水心正日出」など。

鋭く迫る！一般質問

一般質問とは

議員が、市政全般にわたり考え方や方針を市当局に質問することです。
一人50分の持ち時間で「壇上質問 → 市長・教育長等の答弁 → 再質問」を行います。
9月定例会では、9月3日～4日の2日間にわたり9人の議員が質問を行いました。

※質問の内容を要約して掲載します。

※議会ホームページで録画映像を配信しておりますのでご覧ください。

会議録は、12月に公開予定です。

映像配信はこちらから▶



1 茂出木純也（六会合）	財政状況と補助金について
2 濱田藤兵衛（無会派）	賃金増で介護職員の増員を
3 山口 裕昭（保守公明クラブ）	旧ハイジアパーク南陽の今後 農業就業人口減少問題について
4 佐藤 和広（保守公明クラブ）	選挙における南陽市の投票率
5 外山 弘樹（保守公明クラブ）	市立図書館と有害ごみ回収について
6 大友 太郎（保守公明クラブ）	障がい者福祉への支援対策と南陽高校の存続に向けて
7 高橋 一郎（真政会）	どうする！旧ハイジアパーク南陽
8 小松 武美（無会派）	水道管及び下水道管の定期的な更新
9 須藤 清市（六会合）	人口が増える南陽市を目指す



茂出木 純也 議員

財政状況と補助金について

財政状況について

◎統一的な基準による財務書類（令和5年度決算分）を分析する中で財政健全化に向けた課題は。

〈市長〉課題は様々あるが、その中の一として老朽化により更新時期を迎える公共施設の増加だ。

◎財務書類の内容を市民に分かりやすく説明するための取組は。

〈市長〉市ホームページにおいて分析資料と共に公開し、さらに市民向けに簡略化し、注釈やポイントを加えた概要版も別途作成し公開している。

◎公表ページの閲覧数を表示するのも、一つの方法だ。ぜひ検討を。

中期財政計画について

◎令和6年から令和11年までの中期財政計画が示す将来像を市民とどのように共有していくか。

〈市長〉事業の進捗を見込むと大変厳しい財政状況を指し示す。市ホームページに掲載し、共有を図る。

補助金政策について

◎補助金政策の見直しについて、市としての方針は。

〈市長〉それぞれの事業ごとに評価を行い、予算化の過程においても年度ごとに検討を重ね、個別に事業の見直しを行っている。

◎補助金審査会を設置し補助金の見直しを行う

う財政改革はここ10年以上無かった。ぜひ見直しに力を入れては。

〈市長〉他の事例も参考に検討したい。補助をすることで民間の活力を活かすという視点で応援していきたい。

◎是非、行政改革の一環として補助金の見直しと、より効果的で真に必要なとされる分野に公的資金を投じていただくことを願う。





濱田 藤兵衛 議員

賃金増で介護職員の増員を

デイサービスの現状

◎介護の現場では、要支援者のデイサービスを提供していた事業所の休止や閉鎖という状況が生まれ、要支援の方々とその家族の方々の要望に応えられなくなりつつあると聞く。

①通所介護施設のサービス休止や閉鎖の理由は何か。

〈市長〉介護職員の不足や建物賃貸借契約の終了が主な理由だ。

②休止や、廃止した施設の利用者はどの程度の人だったか。

〈市長〉3事業所で65名となっている。

③今までデイサービスを利用していた要支援の方々への、サービス提供が不可能になった

などの実態はあるか。

また、市内の施設が市民のデイサービスの要望に応えきれず、市外の施設に依頼している人数はどれほどか。

〈市長〉利用頻度を少なくせざるを得なくなった方は複数おられる。そのうち市外通所サービス事業所を利用する方は4名だ。

④多くの要支援者が入浴を希望するが、修理が必要な特殊浴槽もあると聞く。

寝台のまま入浴する特殊浴槽の確保は充分か。

また、公的な役割を持つそれらの特殊浴槽への修理代補助を行う考えはないか。

〈市長〉状況を把握したうえでサービス提供に

必要な設備の修繕・更新への支援策を検討したい。

◎介護サービス充実の方策は、結局介護職員の増員に尽きる。

全職種の賃金平均と比較して月8万円も安い介護職員の賃金引き上げに踏み切るべきだ。

〈市長〉市での対応は課題が多く困難だ。国の責任で、報酬体系や、処遇の改善策が講じられるべきだ。



市内介護施設



山口 裕昭 議員

旧ハイジアパーク南陽の今後 農業就業人口減少問題について

旧ハイジアパーク南陽施設の現状

◎6月の一般質問でも聞いたが、専門家に施設の状況を確認してもらっているか。

〈市長〉令和元年度に山形県住宅供給公社による「施設状況調査」を実施し、経年劣化や老朽化により全体的な修繕・改修が必要と診断されたが、その後調査は行っていない。

◎施設の現状把握を行わないまま民間業者へ施設を紹介するのは無責任ではないのか。

〈市長〉旧ハイジアパーク南陽は解体も含めて検討している。

解体となった場合調査費用が無駄になるため、調査を行わないこ

とが無責任とは考えていない。今は方向性を模索している状況だ。

◎6月からの3か月間に何らかの進展は。

〈市長〉現在問合わせのある事業者があり、情報交換し事業計画を精査している。



旧ハイジアパーク南陽

◎施設を再利用して屋内型の※アーバンスポーツ施設や子供の遊び場にできないか。

〈市長〉アーバンスポーツ施設は、施設の再利用に限らず可能であれば整備したい。

子供の遊び場は近隣自治体の施設もあるた

め、本市での整備は考えていない。

◎近年の酷暑で夏季に子供が遊ぶ場がない。厳しい財政状況は理解するが、前向きな検討を要望する。

農業就業人口確保の方策としてソーラーシェアリングの活用を

◎耕作放棄地を再農地化し農家の経営安定化を進めるため、ソーラーシェアリング等に市として援助できないか。

〈市長〉ソーラーシェアリングは※FIT制度との二重交付となる可能性があるため、補助金交付は難しい。

農業就業人口減少問題には引き続き国・県の補助金を活用し支援していく。

※アーバンスポーツ：スケートボードやスポーツクライミング・スラックライン等の都市型スポーツ

※FIT制度：再生可能エネルギーの固定価格買取制度

佐藤 和広 議員



選挙における南陽市の投票率

選挙における投票率

◎過去4回の「南陽市議会議員選挙」投票率減少に対する本市の考え、対策は。

〈選挙管理委員会〉継続した啓発活動が必要と考える。小・中学生・高校生を対象とした選挙啓発ポスターコンクールの実施や、小学生・高校生を対象とした選挙出前講座、商業施設での啓発ビラ配布を行っている。

◎公職選挙法改正に伴い、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、若年層の投票率向上に取り組み自治体が増えている。南陽高校内に、期日前投票所を設置してはどうか。

〈選挙管理委員会〉県教

育委員会との協議や、諸条件等を勘案し、選挙管理委員会と協議していく。

◎政治や社会に関心をもち、自分ごととして選挙などに主体的に参加する態度を養う「主権者教育」は、小・中学校から取り組むべきでは。

〈選挙管理委員会〉必要性を認識しているので、出前講座の拡充など、継続的に実施していく。

防災に対する対応

◎防災ラジオの使用状況は。

〈市長〉概ね4割程度の使用率。研修会等を活用し、実機を用いた操作確認や受信体験を設ける。

◎防災ラジオの試験放

送や放送訓練を行ってはどうか。

〈市長〉必要性を踏まえ、実現の可能性について、放送局と相談しながら検討していく。

◎小岩沢地区自主防災会での取り組みのように、LINEアプリを使用し、住民が災害情報を共有できる取り組みを、市が主体となつて他の地区でも共有できる仕組みづくりはできないか。

〈市長〉説明会や研修会など適切な機会を通じて事例を紹介していく。

〈市長〉概ね4割程度の使用率。研修会等を活用し、実機を用いた操作確認や受信体験を設ける。

〈市長〉説明会や研修会など適切な機会を通じて事例を紹介していく。



外山 弘樹 議員



市立図書館と有害ごみ回収について

市立図書館の今後のあり方について

◎図書館を民間と連携したカフェスペースやワークショップエリア等を併設し、読書や学習の場だけではなく交流・創造の場として再構築する考えはあるか。

〈教育長〉これまで民間との連携や多機能性を持った施設として、整備する検討をしたことはない。

◎図書館に子供が安心して遊べるスペースや子育て中の親御さん同士が交流できる専用スペースを設ける考えはないか。

〈教育長〉現状、児童書コーナー内にある読み聞かせスペースは仕切りもあり、小さなお子

さんの利用も可能なので、ご利用いただきたいと考えている。



リチウムイオン電池の回収方法について

◎本市におけるリチウムイオン電池の回収体制と、市民への周知啓発はどのように行われているか。

〈市長〉リチウムイオン電池による火災事故等のリスクに対応する為、令和3年度より不燃ごみの収集日に合わせてリチウムイオン電池の回収を実施している。

出し方については、可燃ごみとは区別し透明なビニール袋に入れていただくようお願いしている。また、市民への周知啓発は毎年3月16日号の市報に合わせ、家庭ごみの分け方・出し方を記載したガイドを全戸に配布し、ホームページ等でもお知らせしている。

◎本市が呼びかけ役となり、近隣市町と連携した広域的な回収体制の検討を進めていく考えはないか。

〈市長〉ごみ処理については、置賜広域行政事務組合で実施している。リチウムイオン電池についても広域的な課題と捉え、引き続き構成市町と連携を強化していく。

こんな議案を審議しました

鋭く迫る！一般質問

委員会のついで

その他



大友 太朗 議員

障がい者福祉への支援対策と 南陽高校の存続に向けて

障がい者福祉への取
り組みと人工透析の
支援対策について

◎本市としての障がい者雇用への具体的な取り組みは。

〈市長〉就労・生産活動の機会の提供や、就労に必要な知識と能力向上のためや、訓練などの障がい福祉サービスの活用・関係機関との連携等により、障がいのある方が地域で安心して活躍できる環境づくりに努めている。

◎人工透析・身体障がい者福祉における交通関係の現状は。

〈市長〉人工透析の通院をされている方には距離に応じて月額3千円を上限とする通院交通費の助成、障がいの程

度により、助成金制度や移動支援事業を設けている。これらの施策に加えて障がいのある方がより生活し易いまちづくりを目指し、調査・研究を継続する。

南陽高校が存続するための魅力ある取り組みについて

◎過去5年間の志願倍率の推移と本市中学校出身の卒業生の割合を踏まえた現状は。

〈市長〉推移として令和3年度、令和6年度までは志願倍率は0.78倍、0.58倍。

令和7年度は選抜方法が変わり、志願倍率は0.35倍だが選抜方法変更後は0.52倍。卒業生の割合は同年度同じく35、37%と



なっており、いずれも低下傾向や横ばいになっている。

◎本市と南陽高校との具体的な連携の内容は。

〈市長〉市内中学生と南陽高校生が地域課題の解決に向け、共同で政策立案から実行までを行う南陽みらい議会や、南陽高校が実施している総合的な探求の時間への市職員の派遣など、多方面において連携を深めている。



高橋 一郎 議員

どうする！旧ハイジアパーク南陽

スポーツレジャー施設等としての活用策

◎6月の一般質問で市長は「あらゆる方策を検討していく」と答弁した。その後二色根源泉からの温泉提供を停止し、その後の活用策は提示されていない。

施設を壊さずにアスベストを封じ込める工事を行う案として、スケートボード等の施設としての利用が有力だ。

施設の耐久性を考慮しても、なるべく早い再利用を。市長の考えは。

〈市長〉当施設に関心ある事業者と情報交換している。市や市民負担とならないよう適切な対応を探っていく。

あらゆる方策を探っていくが、タイミング

もあると思う。

◎期限の提示を求める。



敷地内の活用としての太陽光発電について

◎地産地消エネルギーシステムとして太陽光発電を取り入れ、公営公社事業として展開し、まずは、環境省の「脱炭素まちづくりアドバ

イザー制度」を活用して前に進めてはどうか。

〈市長〉本市は「南陽市ゼロカーボンシティ宣言」を行っており、官民連携し、脱炭素のまちづくりを進めている。今後は、様々な事業

形態での地産地消エネルギーシステムの展開や環境省の「脱炭素まちづくりアドバイザー制度」の利用も含め検討し、ゼロカーボンシティの実現を進める。

デマンド型タクシーの導入について

◎タクシー会社活性化のためにもドアツードア交通の導入を。

〈市長〉地域公共交通計画策定に向けて現状・問題点・課題を洗い出しているところであり、南陽市地域公共交通活性化協議会で審議を進めている。





小松 武美 議員

水道管及び下水道管の定期的な更新

水道管・下水道管の老朽化が原因

◎耐用年数40年を超える本市の水道管は、20%から30%の間にある。

直径2メートルを超え30年を経過した下水道管は本市にはないが、八潮市に見られるような老朽化による漏水事故が起きると、生命と日常生活が奪われ甚大な被害に繋がる。

未然に防ぐために、定期的な点検と更新及び耐震化が不可欠である。技術者の確保と予算の確保は。

〈市長〉国の交付金を利用し、管路調査と更新・耐震化工事を定期的に行っている。漏水調査は高度な技術とテレビカメラなど専用機

器が必要なため民間調査会社に委託している。水道管では、配水本

管の耐震工事を本年度より実施している。

◎水道管の更新工事は年間どれくらいか。

〈上下水道課長〉その年によって違うが、1キロメートルから2キロメートル行っている。

◎料金体系が変わったが昨年7月の水道料金と同月の料金の変化は。

〈市長〉7月検針で8月の請求は90万円、率にして1.4%の減収となった。これは、料金体系

の変更と給水人口の減少が考えられる。

◎技術系職員の早期退職者がいるが対策は。

〈市長〉退職者が出た場合は、その分の採

用を確保し市民サービスの低下に繋がらないように努めていく。

夜間中学の設置を

◎本市における未就学者と最終卒業が小学校の方の人数は。

〈教育長〉令和2年の国勢調査では、未就学者は14人、最終卒業が小学校の方は432人となっている。

◎夜間中学設置の考えは。

〈教育長〉ニーズを把握しきれていないため、現在のところ設置の意向はない。



須藤 清市 議員

人口が増える南陽市を目指す

◎本市の現状や特徴を再認識し『人口が増える南陽市』を、行政・議会・市民皆で実現する目標に向かうことを提案する。

①働く場所確保

②子育て等市民生活全般支援

③I・Uターン受入

④外国人労働者・技能実習生の受入

⑤世界中からの旅行者誘致

⑥温泉入浴施設鑑賞やイベント企画宣伝等、

以上について、現状把握と施策は。

〈市長〉現在、市では企業立地奨励金、創業支援補助金、空き店舗対策補助金、先端設備導入計画税制優遇に加え、多子世帯への経済

支援、こども医療費無償化、産後ケア病後児保育事業、三路線の市民バスとおきタク運行や医療的ケア障害者の生活拠点整備を行っている。

また、新規就農者や学生の地方就職支援展開、175人の外国人が就労する企業への支援や家族語学研修等支援、全国での物品販売、国内外観光誘客や宣伝など、本市の地域的魅力を掘り起こすことで、交流人口増加に向けた活動を推進している。

◎「これから人口を増やす南陽市づくり」の目標提案に、「市長の、これまでに現状把握、今後の職務遂行への抱負」は。

〈市長〉市長就任から十一年が経過し『身の丈にあった対話のある市政』を基本方針に、市民を主役に市民が幸せを実感できる社会を目指してきた。



務 務 総 常任委員会

9月8日

自分ごと化会議開催 テーマ「学んで得するごみ問題」

審査報告

付託議案2件

◆南陽市職員の育児休業等に関する条例等の一部改正

育児を行う職員の職業生活と家庭生活の両立を一層容易にするため「部分休業制度」が拡充されたことから改正を行うもの。

◆南陽市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

男女ともに仕事と育児・介護を両立できるようにするため「両立支援制度の情報提供、意向確認等」が義務付けられたことから改正を行うもの。

審査の結果、全員異議なく可決した。

行政報告

◆みらい戦略課

・県外在住学生向け食

の支援事業（食でつなぐ、故郷未来プロジェクト）
クーポン申請者数249名。

・自分ごと化会議
無作為に抽出したメンバーで、まちづくりへの市民参画と協働のまちづくりを進める。
テーマ「学んで得するごみ問題」

開催日…10月18日、11月8日、12月6日
陸上自衛隊第6音楽隊演奏会

場所…シエルターナ
開催日…12月20日

◆総合防災課

・南陽市総合防災訓練
住民の生命と財産を災害から守るため、各種訓練を実施するもの。

場所…金山地内

実施日…10月19日

（委員長 須藤清市）

文 教 厚 生 常任委員会

9月9日

市立赤湯幼稚園 幼稚園型認定こども園へ移行

付託議案なし

行政報告

各課報告は次のとおり

◆市民課

・ガバメントクラウドファンディング

「【山形県南陽市】

Nanyo Cityの『ぼち猫』たちを助け

隊！』について

・「なんようゼロカーボンフェスタ2025」について

◆福祉課

・令和6年度南陽市物価高騰対応生活支援給付金及び、こども加算の支給結果について

・令和7年度「なんようの福祉と介護保険」について

・今年度新たに稼働した相談支援事業の実施状況について

◆すこやか子育て課

・市立赤湯幼稚園の幼

幼稚園型認定こども園への移行について

・各種ワクチンの接種状況について

・妊婦支援給付金の支給状況について

・令和7年度なんよう健康ポイント事業について

◆管理課

・学校施設整備等の状況について

・令和7年度南陽市第3子以降学校給食費無償化助成金交付事業について

・次期ギガタブレット整備について

◆社会教育課

・今後の事業予定について



赤湯幼稚園

（委員長 山口裕昭）

ビジネスホテル誘致 条例の一部を改正！

産業建設 常任委員会

9月10日

審査報告

付託議案4件

◆南陽市ビジネスホテル誘致条例の一部改正

●中小規模のビジネスホテル新設や既存宿泊施設からの建替えなど、観光を含めたビジネス需要に柔軟に対応できるように奨励措置の内容を見直すもの。



◆南陽市水道給水条例等の一部改正

●災害など非常時において指定工事事業者等の確保が困難な場合、宅内配管の早期復旧と

適切な工事実施のため、他の市町村長が指定した指定工事事業者等による工事を可能とするよう国から通知があり、関係条文を改正するもの。

◆南陽市道路線の廃止

●片岡穴戸線については、路線の一部区間が県の残土置き場となることから、終点を変更して再認定するため廃止するもの。他の廃止路線については、国道113号梨郷道路の整備に伴い、影響のあった市道を再編するため一旦廃止するもの。



片岡穴戸線

◆南陽市道路線の認定

●片岡穴戸線については、終点を変更して認定しなおすもの。他の認定路線については、国道113号梨郷道路の整備に伴い影響のあった市道を再編し認定するもの、及び新たに造られた側道を認定するもの。



梨郷道路周辺

以上4件は、審査の結果、全員異議なく可決した。

行政報告

◆農林課

- ・高温・少雨に対する緊急支援要望調査について
- ・秋葉山林野火災害地のGIS再解析について



◆商工観光課

- ・企業動向調査
- ・雇用関係資料
- ・ふるさと納税申込状況

◆建設課

- ・各係事業の進捗状況

◆上下水道課

- ・各係事業の進捗状況

◆農業委員会

- ・業務報告

(委員長 伊藤英司)



行政視察

総務常任委員会

6月24日～26日

戦後80年の節目の年に
「戦争の悲惨さと
平和の尊さを考える」

◆沖縄県南城市

「人口増の取組と人口減
対策」と「DX推進計画」

南城市は、4町村の
合併でハート型の地形
を活かしたまちづくり
を進めている。

合併当初より、人口
が約6千人増加してい
るが、人口増加地域と
減少地域が混在する状
況である。土地利用規
制が緩和され住宅建設
の促進、那覇市に近い
立地条件と高規格道路
整備の開発、大型会員
制倉庫型店誘致や、雇
用創出と経済効果が人
口増加の要因である。

情報推進課からDX

推進課に変更、デジタ
ル田園都市構想とDX

推進計画を策定し、
「デジタル活用で人に
やさしい住みよいま
ち」の実現を目指して、
住民サービスのデジタ
ル化を進めている。

例として河川状況確
認システム、スマート
ロック導入（体育館利
用時の予約、決済等）、
漁業者作業負担軽減ア
プリ導入など。

本市にも活かせる政
策、情報など得られた。



南城市役所で研修会

◆沖縄県糸満市

「大戦後の遺骨回収の取組」

辺野古新基地建設の
埋め立て用土砂採掘場

から戦没者の遺骨が収
集され問題化。

米軍基地建設の基礎
の土砂を使用するのは
決して許されることで
はなく、その状況に驚
きと怒りすら覚えた。



糸満市役所で研修会



山形の塔（慰霊塔）

（中村孝律）

行政視察

文教厚生常任委員会

7月14日～16日

◆大阪府寝屋川市

「人権を守るいじめ対策
と子どもの安全施策」

大阪府北東部、淀川
の左岸に位置する寝屋
川市（人口約22万人）
は、大阪市中心部から
15kmと都市近郊ながら
独自の施策を展開して
いる。

ここでは、いじめを
単なる教育現場の問題
ではなく「人権侵害」
と明確に位置づけ、市
長部局の監察課が学校
とは別ルートで迅速に
対応する仕組みを構築
しており、さらに法的
アプローチで多角的に
捉えている。

また、小学1・2年
生にGPS端末を無料
貸与し、登下校時の安
全を守るなど、子育て
世代が安心できる先進

的な環境づくりを進め
ている。

子どもを守るために
行政が正面から挑む姿
勢に、強く感銘を受け
た。



◆大阪府守口市

「部活動地域移行と地域
と歩む学校づくり」

大阪平野の中央部、
淀川のほとりに位置す
る守口市（人口約14万
人）は、市域12.7kmとコ
ンパクトながら、大阪
都市圏の中核的役割を
担っている。

ここでは、中学校の
部活動を地域へ段階的

に移行し、教員の長時
間勤務を抑えつつ、生
徒が地域クラブで活動
を続けられる仕組みを
整備している。

さらに全ての市立学
校で「コミュニティ・
スクール」を導入し、
保護者や地域住民が学
校運営に関わる体制を
確立。

まさに「地域ととも
にある学校づくり」を
実践し、教育と地域力
の両立を進めていた。



（高岡 遼多）

行政視察

産業建設常任委員会

7月22日～24日

◆和歌山県有田市

「有田市農業次世代人材投資事業（定住型）」

有田市は面積が36㎢とコンパクトで、人口は2万5千人ほど。

少子高齢化が進み年間出生者数は99人と少ない状況だが、行政視察が頻繁に訪れるほど、注目を集めている。

有田市は、生のみかんでは全国初となる「原産地呼称管理制度」を導入し、有田みかんのブランド価値向上を図っている。

新規就農支援や販路拡大、農作業の効率化など多岐にわたる取り組みを行い、農家と農地提供者、新規就農者をつないでいる。

本市も、参考にし、独自の支援を目指したい。



◆和歌山県橋本市

「空家等対策について」

橋本市では住宅係5名の事務職員が、公的賃貸住宅管理、住宅新築資金貸付金回収、そして空家対策の3つの業務を兼務している。

令和4年からは係全体で空家対策に取り組んでおり、現地調査、所有者調査、空き家バンクの運営などを分担している。

様々な対策を行っているが、特に力を入れているのが発生抑制の取組（発生予防プロジェクト）だ。モデル地区での取り組み、出前講座、相続準備支援、

出張セミナー、所有者不明空き家への対応などがある。

本市も空き家にならないような対策が必要だ。

（伊藤 英司）



県市議会議長会

議員研修会

8月7日

山形県市議会議長会第63回議員研修会が、「山形ビッグウェイング」において開催された。

講師に大阪経済大学特命教授・経済評論家岡田 晃先生をお迎えし「揺れ動く国際情勢と日本経済の展望」を演題に、ご講演を拝聴した。



置賜三市議会議員

交流研修会

8月21日

本市えくぼプラザにおいて三市議会議員が参加して開催された。

講師は青森県出身の怪談作家・小説家の黒木あるじ氏49歳。

演題「議会の災害対応と、地域伝承の有用性について」置賜にはお化けが足りない？」としてご講演を拝聴した。



置賜三市議会議員交流研修会

置賜地方の怪談から話がはじまり、身近な話に参加者の好奇心が高まったところで次は近世以前の話に移り、昔の人々は、地震や津

波、洪水などの自然災害や疾病、説明のつかない怪奇現象の発生要因に「名前」や「姿形」を与え、「妖怪なるもの」を創造し、「妖怪の仕業」と捉えることで、恐怖をコントロールし穢れを具現化して追い払うことで安心感を得てきた歴史があるとのこと。

妖怪伝承は、人間の意志によって作られたもので、多様な自然災害に對峙しながら、それを説明し回避する知恵も含まれていた。

さらに妖怪を、地域防災にとって重要な役割を果すものと考え、地域防災の一つのキーワードとして捉えることで、市民の防災意識の向上に活用してほしいとの提案に、新たな視点が開かれた講演会だった。

（山口 裕昭）

刀工 水心子正秀

去る9月15日(月)郷土が誇る刀工「水心子正秀」の没後200年記念行事が生誕地の元中山「諏訪神社」と赤湯「烏帽子山八幡宮」にて執り行われました。



水心子正秀の顕彰碑

水心子正秀は寛延3年(1750年)元中山諏訪野原に生まれ、幼くして父を失い母とともに親類の家で育ち、その後赤湯北町で野鍛冶をしながら腕を磨いた後に、刀工を志して山形に移り、次いで武州(現在の東京都)八王子で修業し腕を上げました。

安永3年(1774年)

もと山形の名秋月家に刀工として召し抱えられ江戸に出ましたが、それに満足することなく所々に刀鍛冶名人の子孫を訪ねて学びました。「秘伝」は教えられずとも、自ら種々工夫を凝らしていたようです。

寛政元年(1789年)鎌倉時代一番の名人「正宗」の子孫に系図と秘伝書を授けられましたが、古刀を焼き直すなどの研究を行い、さらに工夫を重ねてやがて※新々刀の巨匠と

言われるまでになりました。正秀は生涯に369振りの刀を作刀しましたが、それにもまして彼の素晴らしいところは作刀方法を十数冊にまとめ公開したこと、彼の弟子は北は米沢から南は薩摩まで全国に数百

人とも言われています。



水心子正秀作 脇差

近年、育成型シミュレーションゲームの人気キャラクターとして、水心子正秀が活躍したことにより、熱心なファンから注目されているようです。

正秀は有名になりましたが、故郷を忘れることはありませんでした。

手紙の中で「幼馴染の誰かれは変わらないか」と尋ねるなど、つねに故郷のことを心にとめていた様子が伺えます。

正秀は文政8年(1825年)76歳で永眠し、昭和50年には赤湯烏帽子山八幡神社境内に正秀の顕彰碑が建立されました。

※新々刀 江戸時代後期から廃刀令までの間に作られた日本刀で、新刀が平和に慣れて弱い作風となったことに反し、鎌倉期から室町初期までの古刀を理想とした実用的な作風の刀。

表紙写真

秋晴れの澄み渡る青空の下で、こうべを垂れ、風に揺れる黄金色の稲穂に故郷なんやうの豊かな実りを感じます。

今年の夏は、高温と雨不足の影響で、農作物にも被害が発生しましたが、生産者の努力と的確な対応・対策のおかげで、無事に収穫の秋を迎えることができました。

視界に広がる南陽市の風景は、手入れされた美しい農地と、緑豊かな自然で心が癒されます。

これからも市民一人ひとりの安全で安心な「食」と「暮らし」を守るため、「実るほどこうべを垂れる稲穂かな」の想いで、取り組んで参ります。

子供達の無邪気な笑顔と、笑い声が聞こえるように、みんなが元気で明るく暮らせるように。

(中村孝律)

9月定例会

ふるさと納税返礼品

今回は、本市に本社を構える山形食品(株)様から、サン&リブのブランド名で販売されている果物ジュース「山形代表」と、紫金園須藤ぶどう酒様の「ブドウの詰合せ」また、菊まつりの開催に先駆けて「菊のアートフラワー」を議長席隣に展示させていただきました。



長かった夏から、実りの秋を想起させる展示となりました。



編集後記



猛暑の夏もようやく過ぎ、朝晩はめっきり涼しくなってきました。これから、夏の疲れがどつとやってくる頃です。疲れを取るには無理をせず、休むこと。

そしてこれから、おいしい野菜や果物がたくさん出回ります。おいしいものを食べ、英気を養いましょう。

ちよつと高いけど新米も楽しみです。

(小松武美)

委員長 山口 裕昭
副委員長 伊藤 英司
委員 小松 武美
中村 孝律
茂出木 純也
高岡 遼多